



# 宮崎県延岡市

～身近なリソース・繋がりを活かし、  
低コストでの情報発信を実施～

## 取組のきっかけ

令和6年7月に、地域の金融機関、支援機関、事業者等に対し事業承継に関するヒアリングを実施。「どこに相談すればいいかわからない事業者が多い」、「出前講座が有効ではないか」といった声があったことを受け、事業者への情報発信の重要性を実感。

ヒアリング実施以前も個別相談会・セミナーの実施や補助事業の措置をしていたが、令和6年度より追加的な取組として、周知リーフレットの作成や出前講座など、より積極的な情報発信に取り組み、事業承継の啓発を行った。

## 取組の概要

### ①市の広報誌での特集

市の広報誌「広報のべおか」に事業承継の特集記事を掲載。経営者だけでなく、その家族にも事業承継を知ってもらう契機にもなった。

### ③事業者向けのリーフレットの作成

事業者向けの周知リーフレットを職員自ら作成。「税申告案内」の送付に併せ、市内約4,500事業者に郵送。要した費用は郵送費の約6万円のみ。

### ②地元紙とのタイアップ

地元紙の夕刊デイリー新聞社に事業承継の重要性を訴求し、タイアップ記事を掲載。経営者の年齢層は新聞を購読している方が多く、ターゲットに届く効果的な広報になった。

### ④団体や協議会への出前講座の実施

事業承継の自分ごと化を目的に、宮崎県、宮崎県事業承継・引継ぎ支援センター（以下「宮崎センター」）の職員等を講師とし、事業者向けの出前講座を開催。



団体・協議会等への出前講座

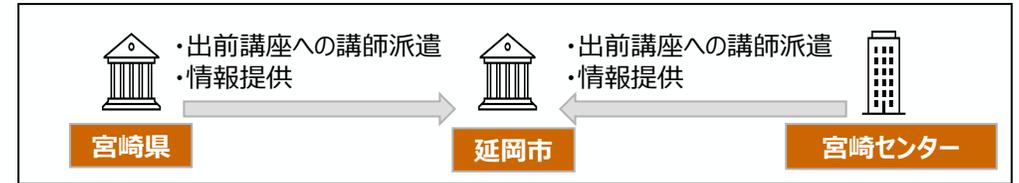


「広報のべおか」事業承継特集

## 取組に向けた過程

ヒアリングの結果を受け、市のリソースを活用しどういった取組ができるかを検討。普段から宮崎県や宮崎センターとも関係性が構築できていたため、そういった身近な機関の協力も得ながら進めることで、年度途中に着手するも複数の効果的な取組を実現。

取組の下地ができ、令和7年度についても同様の取り組みを実施予定。



## 本事例のポイント

- ➡ 地域の支援機関、事業者等へのヒアリングにより現状やニーズを把握し、ヒアリング結果に応じた取組を展開。
- ➡ 市の広報誌、地元紙、リーフレットなど身近な媒体をフル活用し、低コストながら、広く効果的な情報発信を実施。
- ➡ 宮崎県や宮崎センターといった身近な繋がりを活かし、協力を得ながら取り組むことで負担を軽減。